

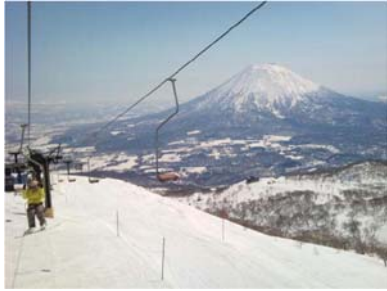
# も い 森 林 の 話

第11話  
後志森林管理署  
佐々木 理子

採用二年目の若手職員のコーナーです

後志森林管理署に赴任して  
から7ヶ月が経ちました。赴任  
当初は、署内から見える羊蹄山  
の壮大さにとっても感動したこ  
とを懐かしく思います。

当署管内は、支笏洞爺国立公  
園やニセコ・神仙沼自然休養林  
歌才のブナ林など自然豊かな  
国有林を活用した観光やスキ  
ーを中心としたリゾート産業  
などが盛んで、季節を問わずた  
くさんの人々が訪れ、外国の  
方々も楽しめるような魅力あ  
ふれる地域であると感じまし  
た。



ヒラフスキー場から見る羊蹄山

私は、この7ヶ月で、担当の  
資源活用とドローンの活用や  
スキル向上を目指す書の「ドロー

ーン隊」としての業務を行って  
きました。

資源活用では昨今の「新型コ  
ロナウイルス」の影響で全国的  
に木材が売れないという大き  
な課題があり、コロナ禍の収束  
と共にこの課題の解決に向け  
業務に取り組む毎日です。

さてここからは、「ドローン  
隊」での活動についてふたつ紹  
介したいと思います。



トドマツに近づき上から撮影

これはトドマツの着果調査  
の写真です。樹木に衝突するお  
それのないところまでドロー  
ンを近づけ撮影を行いました。

目視でも着果していること確  
認できる箇所ではありませんた  
が、白っぽい物体がぼやっと見

える程度でした。この写真から  
は球果の様子がはっきりと確  
認できます。

また、トドマツの球果が上向  
きに着果すると気づくことが  
できたのは自分の中で大きな  
収穫でした。



一枚の平面写真を作成

右の写真は自動航行アプリ  
を活用して設定区域内で多数  
の写真撮影し、高性能パソコ  
ンを利用し専用ソフトで一枚  
の平面図にしたものです。

写真では伝わりにくいので  
すが、区域面積がおよそ28ヘ  
クタールあります。

例えば、異常気象や害虫発生  
による森林被害箇所の把握、緊  
急時の森林調査など大面積や  
危険を伴う箇所を足で歩き、目

視ですべて確認するためには  
膨大な時間と労力が必要とな  
り、短時間で済ませることは困  
難を極めます。

しかしドローンを活用すれ  
ば、広大な面積でも上空から確  
認でき、さらに10分程の時間  
ですべて撮影出来るので効率  
よく安全に作業が進められる  
というのがドローンのメリッ  
トだと思えます。

昨年、北海道森林管理局業務  
調整課に配属され、主にドロー  
ンを活用した業務に携わり、飛  
行訓練だけではなく、より高度  
なドローンに関する研修に参  
加し、習得した知識や技術など  
を市町村職員等に紹介する場  
があったことなど、様々な機会  
を設けていただいたお陰で知  
識や技術とともに自信も身に  
付いたので、感謝の気持ちでい  
っぱいです。

今後は「ドローン隊」の一員  
として経験を積み、自分の得意  
分野にできるような技術を磨き  
ながら、ドローンの新しい活用  
方法も見いだしていきたいと  
思います。